

平成25年度
厚木市教育委員会点検・評価報告書
(平成24年度事業対象)

平成25年 7 月

厚木市教育委員会

目 次

1 厚木市教育委員会の基本目標等	1
1 基本目標	2
2 基本方針	3
2 厚木市教育委員会の点検・評価について	5
1 趣旨	6
2 点検・評価の対象	6
3 点検・評価の方法	6
4 教育委員会の開催状況等	7
3 厚木市教育充実プラン主要事業の点検・評価	13
基本方針別事業一覧	14
基本方針1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。	19
基本方針2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。	39
基本方針3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される 学校づくりを推進します。	49
基本方針4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。	53
基本方針5 教育の原点である家庭教育を支援します。	69
基本方針6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の 教育力の向上に努めます。	73
基本方針7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを 推進します。	77
基本方針8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。	89
点検・評価委員会からの総括的意見	91
基本方針事業に関する教育委員会の評価	93

1 厚木市教育委員会の基本目標等

1 基本目標

厚木市教育委員会基本目標

(平成20年3月26日議決)

厚木市教育委員会は、未来を担う人づくりを進めるために、

- 1 自ら学び、鍛え、未来を切り拓くためのたくましい力の育成 【拓く力】
- 2 自他を大切にし、互いを認めあえる豊かな心の育成 【感じる力】
- 3 社会の一員として共に支えあい、よりよい社会を築いていく力の育成 【築く力】

を基本目標に掲げ、家庭・学校・地域社会と協働で取り組みます。

厚木市教育委員会基本目標の3つの力は、平成18年12月に制定された教育基本法において規定された教育の目標や、平成19年8月に策定された「かながわ教育ビジョン」を踏まえて制定したものです。

「拓く力」では自分自身に関すること、「感じる力」では自分と他者及び自分と自然とのかかわりに関すること、「築く力」では、個人と社会とのかかわりに関することをうたっています。この3つの力は、子どもたちだけではなく、市民一人一人がより豊かに生きていくために求められているものです。

2 基本方針

教育委員会の長期的指針である「教育委員会基本目標」に基づき、その目標を具体的な事務事業に的確に反映していくに当たり、中期的な指針として施策の基本的方向を明確にするため、8つの「基本方針」を定めました。

1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

学習指導要領の基本理念としている「生きる力」^{※1}が、生涯にわたり実社会を主体的に生きていくための力であることから、基礎的・基本的な知識や技能の習得、それを活用した課題解決をするために必要な思考力、判断力、表現力などの育成、学習意欲の向上や学習習慣の確立を重視した教育を推進します。（「確かな学力」^{※2}）

2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

規範意識の希薄化、基本的な生活習慣の乱れや体力・運動能力の低下などが、現在の子どものたちの課題であることを踏まえ、子どもたちを、規範意識や自立心、思いやりの心や感動する心を持ち、意欲や気力の源となる体力を身に付け、他の人と相互に支援し合えるような人に育てる教育を推進します。

3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

「教育は人なり」という言葉で表されるように、より良い教育のためには、力量のある教職員が求められています。教職員一人一人が情熱と使命感を持ち、確かな専門性を身に付け、学校全体の組織力の向上につながるよう、教職員研修等を一層充実させ、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進します。

4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

国際化、高度情報化、科学技術の進展など多様化する現代において、今日的な課題や一人一人の教育的ニーズに対応し、更に創意工夫に満ちた教育活動を推進するために、家庭・学校・地域社会の声を聞きながら教育環境の整備・充実を図ります。

5 教育の原点である家庭教育を支援します。

家庭は、子どもの心とからだを健やかにはぐくみ、基本的な生活習慣や人への信頼、人と
かかわる力を育成する重要な場です。保護者が家庭教育の大切さを再認識し、安心して子育て
ができるよう、積極的に支援します。

6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

子どもたちを健やかにはぐくむためには、家庭や学校とともに、地域社会が子どもたちに
かかわることが大切です。そのためにも、地域人材の持つ力や情報ネットワークを生かした
地域コミュニティづくりに努めます。

7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

スポーツ、芸術・文化活動を主体的に行えるよう人材育成等を行い、子どもから大人ま
でイキイキと充実した生活が送れる地域づくりを推進します。

8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

「あらゆる立場の一人一人が、互いにかけがえのない人間として尊重される」という考え
のもとに、家庭・学校・地域社会と積極的に連携し、人権教育の充実を図ります。

※1 生きる力

- ・基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら学び、自ら
考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- ・自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- ・たくましく生きるための健康や体力などの、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」など
から構成される総合的な力

※2 確かな学力

文部科学省が提唱しているもので、基礎的・基本的な「知識や技能」に加え、自分で課題を
見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決するなどの
「学ぶ意欲」や「思考力、判断力、表現力など」を含めた幅広い学力

2 厚木市教育委員会の点検・評価について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用した点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、教育委員会では、法の趣旨にのっとり、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の責任体制の明確化を図り、市民の方々への説明責任を果たすために、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、報告書として作成しました。

2 点検・評価の対象

点検・評価は、平成24年度の厚木市教育充実プランに位置付けた、主要事業を対象として実施しました。

3 点検・評価の方法

点検・評価では、対象事業の実績などを踏まえて課題等を分析し、今後の事業方針等を検討しました。

また、点検・評価の客観性を確保するため、厚木市教育委員会点検・評価委員会を設置し、教育に関し学識経験を有する次の委員の方々から、御意見をいただきました。

(50音順)

氏 名 (敬称略)	役 職 等
北川 栄子	元厚木市中学校長会副会長
林 元春	元厚木市小学校長会会長
平本 博	元厚木市小学校長会会長

【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

4 教育委員会の開催状況等

(1) 教育委員会委員

(平成25年3月31日現在)

役 職	氏 名
委 員 長	難 波 有 三
委員長職務代理者	新 川 勉
委 員	馬 嶋 順 子
委 員	田 口 孝 男
教 育 長	平 井 広

(2) 教育委員会開催状況

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会							1						1

件 名		件 名	
4 月 定 例 会	○事務の臨時代理の報告について (心身障害児の教育措置) ○平成24年度教育施設整備計画について ○結核対策委員会委員の委嘱について ○厚木市教育研究所研究員の委嘱について ○厚木市青少年相談員の委嘱について ○厚木市教育ネットワークコーディネーターの委嘱について ○厚木市スポーツ推進委員の委嘱について	6 月 定 例 会	◎厚木市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則の一部を改正する規則について ◎厚木市小中学校通学区域再編成委員会委員の委嘱について ◎厚木市図書館協議会委員の任命について ◎児童・生徒支援のための学校と警察との相互連携に係る協定について ○事務の臨時代理の報告について (諮問・答申の処理) ○平成24年度厚木市教育委員会表彰被表彰者について ○給食用食材の放射性物質の検査結果について ○通学路における交通安全の確保に向けた取組について ○厚木市郷土資料館運営協議会委員の委嘱について ○事務の臨時代理の報告について (心身障害児の教育措置)
	◎厚木市学校事故審査委員会委員の委嘱について ◎厚木市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ◎厚木市中心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について ◎厚木市青少年教育相談センター運営協議会委員の委嘱について ◎厚木市社会教育委員の委嘱について ○事務の臨時代理の報告について (人事の内申) ○厚木市教育委員会点検・評価委員会委員の委嘱について ○専決処分の報告について ○厚木市学校給食費に関する制度の制定に係るパブリックコメントの実施について ○給食用食材の放射性物質の検査結果について ○市立小学校における修学旅行の実施状況について ○平成23年度児童・生徒指導について ○第2次厚木市子ども読書活動推進計画策定検討委員会委員の委嘱について		◎教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について ◎平成25年度使用の厚木市立小学校及び中学校教科用図書の採択について ◎厚木市立中学校選択制について ○給食用食材の放射性物質の検査結果について ○小・中学校向け放射線に係る指導資料について
5 月 定 例 会		7 月 定 例 会	○事務の臨時代理の報告について (人事の内申) ○学校における事故発生の状況について ○給食用食材の放射性物質の検査結果について
		8 月 定 例 会	

件 名		件 名	
8月定例会	○市立小学校における修学旅行の実施について ○通知表の誤記入について	11月定例会	○市立小学校における修学旅行の実施状況について ○第2次厚木市子ども読書活動推進計画（案）のパブリックコメントの実施について
9月定例会	○給食用食材の放射性物質の検査結果について ○平成23年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について ○猿ヶ島野球場の暫定利用について ☆厚木市教育委員会委員長選挙 ☆厚木市教育委員会委員長職務代理者の指定	12月定例会	○給食用食材の放射性物質の検査結果について ○通学路の安全点検状況について ○厚木市内の公立小中学校給食用食材の測定を、より子どもたちの安全に配慮したものにすることを求める陳情について
10月定例会	◎厚木市立小学校及び中学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則について ◎厚木市青少年教育相談センター運営協議会委員の委嘱について ○平成24年度厚木市教育委員会表彰被表彰者について ○愛甲地区の住居表示の実施に伴う専決処分報告について ○給食用食材の放射性物質の検査結果について ○第27回厚木市和田傳文学賞受賞者について ○平成24年度厚木市学力・学習状況調査に係る厚木市立小学校の調査結果及び平成24年度全国学力・学習状況調査に係る厚木市立小・中学校の抽出調査の結果について	1月定例会	○事務の臨時代理の報告について（人事異動） ○給食用食材の放射性物質の測定結果について
		2月定例会	◎厚木市公契約条例施行規則について ◎平成24年度教育予算補正について ◎平成25年度教育予算について ◎厚木市立小・中学校の校長及び教頭の人事異動の内申について ◎厚木市指定文化財の指定に係る諮問について ○事務の臨時代理の報告について（心身障害児の教育措置） ○平成24年度厚木市教育委員会表彰被表彰者について ○給食用食材の放射性物質の測定結果について ○平成25年度厚木市立中学校選択制について
第1回臨時会	◎厚木市教育委員会教育機関等の職員の懲戒について ◎厚木市教育委員会事務局の職員の人事異動について		
11月定例会	◎厚木市学校給食費に関する条例（案）について ◎平成24年度教育予算補正（案）について ○事務の臨時代理の報告について（人事の内申） ○平成24年度厚木市教育委員会表彰被表彰者について ○給食用食材の放射性物質の検査結果について	3月定例会	◎第2次厚木市子ども読書活動推進計画について ◎平成25年度使用の学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について ○事務の臨時代理の報告について（厚木市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例（案）） ○事務の臨時代理の報告について（人事の内申）

件 名		件 名	
3 月 定 例 会	○事務の臨時代理の報告について (平成24年度教育予算補正・平成25年度教育予算補正)	3 月 定 例 会	○東日本大震災における福島原子力発電所事故に伴う賠償請求について
	○事務の臨時代理の報告について (心身障害児の教育措置)		○給食用食材の放射性物質の測定結果について
	○事務の臨時代理の報告について (人事異動)		○学校給食費の公会計化について
	○厚木市学校教育指導員及び厚木市社会教育指導員の委嘱について		○平成25年度教職員の研修方針について
	○平成25年度厚木市立小・中学校学校医等について		○厚木市青少年心理相談員の委嘱について ○厚木市教育ネットワークコーディネーターの委嘱について

◎審議事項 ○報告事項 ☆その他

〔審議事項内訳〕

(単位：件)

条例	予算	規則	訓令	人事	その他	合計
1	3	3	0	11	7	25

＊ その他事項の議案

- ・ 児童・生徒支援のための学校と警察との相互連携に係る協定について
- ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について
- ・ 平成25年度使用の厚木市立小学校及び中学校教科用図書の採択について
- ・ 厚木市立中学校選択制について
- ・ 厚木市指定文化財の指定に係る諮問について
- ・ 第2次厚木市子ども読書活動推進計画について
- ・ 平成25年度使用の学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について

〔報告事項内訳〕

(単位：件)

事項 件数	事務の臨時代理の報告		附属機関以外の 委員の任命等	事業等の 周知	その他	合計
	人事	その他				
件数	6	7	12	0	38	63

(3) 教育委員会委員のその他の活動

〔視察関係〕

市立中学校・青年の家跡地・南部学校給食センター

〔行事関係〕

教職員異動辞令伝達式、退職辞令伝達式、小・中学校入学式・卒業式、教育研究発表会、教育講演会、市民体育祭、小学校運動会、感謝状贈呈式、教育委員会委員任命発令、中学校文化祭、あつぎマラソン、郷土芸能まつり、小・中学校長との意見交換会、和田傳文学賞授賞式、こども科学賞表彰式、成人式、教育委員会表彰式、あつぎ駅伝競走大会、こどもアート展表彰式、ちびっこマラソン&駅伝競走大会

〔その他〕

市町村教育委員会連合会（総会・研修会）、市立小中学校PTA連絡協議会総会、関東甲信越静市町村教育委員会連合会（総会・研修会）、PTA会長と教育関係者との研究会、しみずっ子すこやかネットワーク会議文部科学大臣表彰祝賀会、子ども会育成連絡協議会設立50周年記念式典、市立小中学校PTA活動研究大会

3 厚木市教育充実プラン主要事業の 点検・評価

基本方針別事業一覧

基本方針1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

基本方針1の実現のために取り組んだ主要事業（20事業）

- ① 小学校保護者負担軽減事業
- ② 中学校保護者負担軽減事業
- ③ 外国語指導助手配置事業
- ④ 小学校英語活動推進事業
- ⑤ 小中一貫教育研究事業
- ⑥ 学力ステップアップ支援員派遣事業
- ⑦ 厚木市学力学習状況調査実施事業
- ⑧ 小学校「放課後あつぎ元気塾」実施事業
- ⑨ 厚木市SEL教育基金事業
- ⑩ 元気アップスクール推進事業交付金（小学校）
- ⑪ 元気アップスクール推進事業交付金（中学校）
- ⑫ 教育活動充実交付金（小学校）
- ⑬ 教育活動充実交付金（中学校）
- ⑭ 小学校少人数学級実施事業
- ⑮ 小学校教科担任制推進事業
- ⑯ 中学校生徒支援推進事業
- ⑰ 小中一貫教育推進事業
- ⑱ 学校ICTサポーター事業
- ⑲ 小学校ICT化推進事業
- ⑳ 中学校ICT化推進事業



基本方針2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

基本方針2の実現のために取り組んだ主要事業（9事業）

- ① 厚木小学校給食施設整備事業
- ② 学校給食への地場農産物導入事業
- ③ 郷土資料館活動推進事業
- ④ 郷土資料館特別展示事業
- ⑤ ブックスタート事業
- ⑥ 子ども読書活動推進事業
- ⑦ 青少年教育相談事業
- ⑧ 登校支援推進事業
- ⑨ 適応指導教室運営事業



基本方針3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

基本方針3の実現のために取り組んだ主要事業（3事業）

- ① 教育調査研究部会運営事業
- ② 教育資料提供事業
- ③ 先生のための研修事業



基本方針4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

基本方針4の実現のために取り組んだ主要事業（15事業）

- ① 小学校校舎・体育館改修事業
- ② 中学校校舎・体育館改修事業
- ③ 中学校校庭整備事業
- ④ 小学校教室冷暖房設備設置事業
- ⑤ 中学校教室冷暖房設備設置事業
- ⑥ 高等学校等修学旅行費支援金
- ⑦ 児童・生徒登下校等安全推進事業
- ⑧ 要保護及び準要保護児童就学援助事業（小学校）
- ⑨ 要保護及び準要保護生徒就学援助事業（中学校）
- ⑩ 小学校特別支援学級等就学奨励事業
- ⑪ 中学校特別支援学級等就学奨励事業
- ⑫ 就学指導事業
- ⑬ 特別支援教育推進事業
- ⑭ 外国籍児童・生徒等支援事業
- ⑮ 学校支援プロジェクトチーム事業



基本方針5 教育の原点である家庭教育を支援します。

基本方針5の実現のために取り組んだ主要事業（3事業）

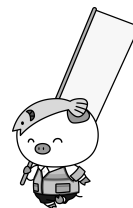
- ① 家庭教育学級交付金
- ② 家庭教育情報提供事業
- ③ 「早寝早起き朝ごはん」啓発推進事業



基本方針６ 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

基本方針６の実現のために取り組んだ主要事業（２事業）

- ① 街頭指導活動
- ② 非行防止・環境浄化活動



基本方針７ スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

基本方針７の実現のために取り組んだ主要事業（13事業）

- ① 市民スポーツ活動推進事業
- ② スポーツ推進事業補助金
- ③ スポーツ振興基金積立金
- ④ スポーツ推進委員養成事業
- ⑤ 競技団体選手強化事業交付金
- ⑥ 全国大会等出場奨励事業
- ⑦ 体育施設整備事業
- ⑧ (仮称)飯山グラウンド整備事業
- ⑨ 青少年広場拡張事業
- ⑩ 市史編さん事業
- ⑪ 郷土芸能公開活用事業
- ⑫ 郷土芸能後継者育成事業
- ⑬ (仮称)収蔵資料館建設事業



基本方針８ 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

基本方針８の実現のために取り組んだ主要事業（１事業）

- ① 人権教育・啓発推進事業

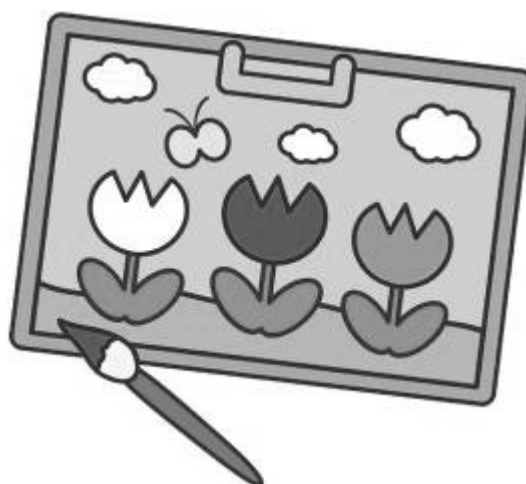


基本方針1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

1－①

事業名	小学校保護者負担軽減事業
担当課等	学校施設課
事業概要	保護者の経済的負担の軽減を図るため、図工科、家庭科を中心とした教材などや学級活動、クラブ活動に係る消耗品、クラブ活動に係る備品を購入しました。
24年度実績	〈市立小学校〉3,685万5千円 消耗品費 3,663万7千円、備品購入費 21万8千円 児童一人当たり補助額 2,977円、クラブ活動に係る補助額284円
成果と課題・今後の取組等	保護者が負担する教材教具費のうち、17.0%を公費で負担し、充実した教育活動に資することができました。今後も、同程度の取組を実施します。

点検・評価委員からの意見	社会的に多くの課題を抱える現在において、保護者の経済的負担は、ますます増大しています。子供たちに家庭の経済的負担による教育格差を生じさせず、「確かな学力」を身に付ける教育を推進するために有意義な事業であり、今後も充実・継続が必要と考えます。
--------------	--



事業名	中学校保護者負担軽減事業
担当課等	学校施設課
事業概要	保護者の経済的負担の軽減を図るため、音楽科、美術科、技術・家庭科を中心とした教材などや、学級活動に係る消耗品、部活動に係る備品を購入しました。
24年度実績	〈市立中学校〉 2,553万7千円 消耗品費 2,086万4千円、備品購入費 467万3千円 生徒一人当たり補助額 4,072円、部活動に係る補助額 745円
成果と課題・今後の取組等	保護者が負担する教材教具費のうち、26.8%を公費で負担し、充実した教育活動に資することができました。今後も、同程度の取組を実施します。

点検・評価委員からの意見	社会的に多くの課題を抱える現在において、保護者の経済的負担は、ますます増大しています。子供たちに家庭の経済的負担による教育格差を生じさせず、「確かな学力」を身に付ける教育を推進するために有意義な事業であり、今後も充実・継続が必要と考えます。
--------------	--



1-③

事業名	外国語指導助手配置事業
担当課等	学校教育課
事業概要	国際理解の素地を培い、コミュニケーション活動を中心とした英語教育の推進を図るため、小・中学校に英語を母国語とする外国語指導助手を配置しました。
24年度実績	派遣校 市立小・中学校全36校 派遣人数 小学校4人、中学校7人 派遣日数 小学校720日、中学校 1,133日
成果指標	児童・生徒の関心・意欲の割合 80.0%
成果実績	児童・生徒の関心・意欲の割合 87.0%
成果と課題・今後の取組等	英語及び外国語を指導する教員を対象に実施した本事業に関するアンケートによると、「授業づくりや準備等、業務に向かう姿勢に関する満足度」及び「児童・生徒が授業を楽しみにしているか」「コミュニケーションの楽しさに触れているか」などの項目を含め、ほぼ全ての質問項目で、「良い・非常に良い」を合わせて80%を超えており、英語を通じたコミュニケーション能力の育成に効果的であると言えます。 今後も、更に効果的な指導に向けて事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	外国語指導助手を配置することで、子供たちは、多様な文化を知る楽しさを味わうことができ、コミュニケーション能力を高めることの必要性を認識することができるので、大変有効であると思います。 英語指導教員と外国語指導助手との連携や、効果的な指導方法の研修を行いつつ、事業を継続してほしいと思います。
--------------	---



事業名	小学校英語活動推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	小学校5・6年生に導入された外国語活動の指導の充実に向けて、小学校英語活動推進研究校を2校指定し、指導計画、指導内容などを研究・実践し、その成果などを市立小・中学校に普及させました。
24年度実績	・第1回英語教育研究部会（6月）での授業参観 ・研究推進校での校内研修会実施 ・第3回英語教育研究部会（2月）での研究成果発表
成果指標	6年生への年度末アンケートによる関心・意欲・態度に関する充実度80.0%
成果実績	6年生への年度末アンケートによる関心・意欲・態度に関する充実度84.0%
成果と課題・今後の取組等	市内小・中学校全校の英語担当教員が、研究推進校（厚木第二小学校・愛甲小学校）での授業参観を行い、その後研究協議をしました。 小・中の連携を視野に入れた効果的な指導法について、小・中学校それぞれの立場で意見を交わし、各学校の取組にいかすことができました。



事業名	小中一貫教育研究事業
担当課等	学校教育課
事業概要	小・中学校9年間を見通した教育課程編成及び指導方法の工夫改善の在り方の研究を通して、学力向上に向けた取組を推進しました。
24年度実績	1中学校区（中学校1校、小学校2校）において、児童・生徒の発達段階に応じた一貫性のある目標を設定し、継続的、発展的な指導を行うことができました。
成果指標	研究指定校への年度末アンケートによる小中一貫教育の充実度 80.0%
成果実績	研究指定校への年度末アンケートによる小中一貫教育の充実度 80.0%
成果と課題・今後の取組等	合同研究会や意見交換会の開催により、小中一貫教育の意義の理解を深め、課題解決に当たることができました。小学生にとっては、中学校への理解を深める機会となり、中学生にとっては、自身の成長を実感したり、中学校生活への意欲を高めたりする機会となりました。 小・中学校の連携を更に深めるため、継続的な取組を実現するための組織体制作りを更に推進し、連携から一貫へと深化・発展させることが、今後の課題です。

点検・評価委員からの意見	子供たちが、小・中学校9年間を通して、「確かな学力」を効果的に身に付けることができる教育実践は大変有意義であると思います。今後も、発達段階に応じた一貫性のある学習目標を設定し、小・中学校の教員が交流を図りつつ、指導法の研究を推進してほしいと思います。
--------------	--



1-⑥

事業名	学力ステップアップ支援員派遣事業
担当課等	学校教育課
事業概要	充実した教育活動を推進するため、市立小・中学校に学力ステップアップ支援員を派遣し、小学校では学級担任の補助及び学習支援、中学校では数学と英語を中心とした学習支援を行いました。
24年度実績	派遣校 市立小・中学校 全36校 派遣人数 小学校33人、中学校41人 派遣日数(一人当たり) 小学校191日、中学校175日
成果指標	児童・生徒の学習理解度の割合 92.0%
成果実績	児童・生徒の学習理解度の割合 87.5%
成果と課題・今後の取組等	児童・生徒一人一人に学習状況に応じたきめ細かな支援を行うことで、基礎的・基本的な知識や技能の習得及び学習意欲の向上が図られました。 今後も、各学校においてきめ細かな支援を行い、個々の状況やニーズに応じて適切な支援を受けられる環境を整備するため、事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	学力ステップアップ支援員が全小・中学校に派遣され、学級担任の補助や学習支援が行われることにより、児童・生徒の多様なニーズへの適切できめ細かな支援ができるようになります。児童・生徒は質問がしやすくなり、分かる喜びを味わうことにより学習意欲が向上します。また、支援員と学級担任・教科担当との連携による学習環境の改善も可能となり、基礎・基本の定着、学力の向上にも大変効果があるので、是非重点的に継続してほしいと思います。
--------------	---



事業名	厚木市学力学習状況調査実施事業
担当課等	学校教育課
事業概要	「確かな学力」を身に付ける教育を推進し、基礎的・基本的な知識や技能の習得、個に応じた指導の充実などの普及・定着などにつなげるために、市立小学校5年生及び市立中学校2年生を対象に調査を実施しました。
24年度実績	(調査実施校、対象学年) 小学校23校・5学年児童 中学校12校・2学年生徒
成果指標	市と全国との平均正答率の比較 ±0ポイント
成果実績	市と全国との平均正答率の比較 小学校 -5.6ポイント 中学校 +1.4ポイント
成果と課題・今後の取組等	調査結果を基に、学力・学習状況改善のための検討委員会を開催し、各学校における学力向上に向けた取組の充実を図ることができました。 今後も、児童・生徒の学力の状況を継続的に把握し、各学校における指導や教育委員会の施策の改善を進めるため、事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	児童・生徒が「確かな学力」を身に付ける教育の推進に向けて事業を継続するには、調査結果の統計的な把握・検討だけでなく、調査対象児童・生徒への直接的な還元が更に必要と考えます。様々な形での調査結果の検討を早急に行い、授業の進め方や学習指導の方法などの評価と課題の改善を提起するとともに、児童・生徒が適切な自己評価を通して新たな学習目標が設定できるような個別指導を行うなど、事後指導の時間設定を含めた指導計画が重要であると考えます。
--------------	---



事業名	小学校「放課後あつぎ元気塾」実施事業
担当課等	学校教育課
事業概要	放課後の教室等を利用し、小学校3年生の国語及び算数の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、復習を中心とした個別の学習指導をするあつぎ元気塾講師を配置しました。
24年度実績	(実施校) 市立小学校22校、対象児童数 773人
成果指標	児童アンケートによる児童の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 80.0%
成果実績	児童アンケートによる児童の学習意欲の向上と基礎的・基本的な学習内容の定着度 90.0%
成果と課題・今後の取組等	学習習慣の確立や基礎的・基本的な内容の定着が図られました。 今後も、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導を実施します。



1-⑨

事業名	厚木市SEL教育基金事業
担当課等	学校教育課
事業概要	「確かな学力」を身に付けた心豊かで健康な児童・生徒を育成するため、厚木市SEL教育基金を活用しました。
24年度実績	携帯型学習機用学習ソフト配布校 市立小学校全23校 表彰実施校 市立小・中学校全36校 厚木こども科学賞応募作品数 小学生650点、中学生249点 おもしろ理科教室 市立小学校全23校(2回ずつ)
成果指標	アンケートによる事業の満足度 80.0%
成果実績	アンケートによる事業の満足度 97.1%
成果と課題・今後の取組等	児童・生徒の個々の特性を評価し、「やる気」を喚起する事業や理科好きの子供を育成する事業などに活用できました。 さらには、基礎的な学力の定着や学習意欲の高揚も図ることができましたので、今後も、基金の趣旨を最大限にいかす事業展開に努めます。



1-⑩

事業名	元気アップスクール推進事業交付金（小学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	市立小学校が地域との絆を大切にした特色ある学校づくりを推進するため、各小学校からの提案プランに基づき、必要な経費を交付しました。
24年度実績	（交付校）市立小学校全23校
成果指標	地域人材や講師などの来校者数（中学校含む） 20,000人
成果実績	地域人材や講師などの来校者数（中学校含む） 37,721人
成果と課題・今後の取組等	地域の協力を得て、各学校の特色ある事業展開を推進することができました。今後も、「特色ある学校づくり」のために事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	各学校の様々な課題に対応するためには、家庭・地域との連携を通じた信頼関係づくりが必要であり、そのような各学校の状況に応じた特色ある学校づくり推進のために、本事業は重要であり成果も出ているので、今後も是非継続してほしいと思います。
--------------	--



1-⑪

事業名	元気アップスクール推進事業交付金（中学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	市立中学校が地域との絆を大切にした特色ある学校づくりを推進するため、各中学校からの提案プランに基づき、必要な経費を交付しました。
24年度実績	交付校 市立中学校全13校
成果指標	地域人材や講師などの来校者数（小学校含む） 20,000人
成果実績	地域人材や講師などの来校者数（小学校含む） 37,721人
成果と課題・今後の取組等	地域の協力を得て、各学校の特色ある事業展開を推進することができました。今後も、「特色ある学校づくり」のために事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	各学校の様々な課題に対応するためには、家庭・地域との連携を通じた信頼関係づくりが必要であり、そのような各学校の状況に応じた特色ある学校づくり推進のために、本事業は重要であり成果も出ているので、今後も是非継続してほしいと思います。
--------------	--

1-⑫

事業名	教育活動充実交付金（小学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	市立小学校が、より良い教育活動の実践や特色のある学校づくりを推進するため、交付金を交付しました。
24年度実績	交付小学校 全23校
成果と課題・今後の取組等	各学校の特色ある事業展開や教員の資質向上に資する研究活動を推進することができました。今後も、地域との連携・信頼関係を基盤とした各学校の教育の質の向上のため、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	各学校の特色ある学校づくりを推進し、家庭・地域との信頼関係を築くためには、教員の資質向上に向けた研究活動が大切となりますが、本事業はその裏付けとなるものなので、今後も継続してほしいと思います。
--------------	--



1-⑬

事業名	教育活動充実交付金（中学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	市立中学校が、より良い教育活動の実践や特色のある学校づくりを推進するため、交付金を交付しました。
24年度実績	交付中学校 全13校
成果と課題・今後の取組等	各学校の特色ある事業展開や教員の資質向上に資する研究活動を推進することができました。今後も、地域との連携・信頼関係を基盤とした各学校の教育の質の向上のため、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	各学校の特色ある学校づくりを推進し、家庭・地域との信頼関係を築くためには、教員の資質向上に向けた研究活動が大切となりますが、本事業はその裏付けとなるものなので、今後も継続してほしいと思います。
--------------	--

事業名	小学校少人数学級実施事業
担当課等	教職員課
事業概要	きめ細かな指導を展開するため、国の施策で1学級の上限が35人となった学年よりも一つ上の学年を対象として、市独自で35人以下の学級編制とし、小学校に非常勤講師を派遣しました。
24年度実績	(実施校) 市立小学校全23校、派遣人数 9人
成果指標	アンケートによる児童・保護者の満足度 85.0%
成果実績	アンケートによる児童・保護者の満足度 100.0%
成果と課題・今後の取組等	少人数学級編制により、一人一人の児童に対応できる時間が増え、個々の児童の学習状況などの把握が容易になり、基礎学力の定着や授業での児童の発言機会の増加などがみられました。 今後も、きめ細かな教育の推進のため、事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	小学校低学年の児童が、基本的な生活習慣や基礎学力を身に付け、一人一人が生き生きとした学校生活を送ることができるようにするためには、十分な配慮ときめ細かな指導が必要です。そのためにはこの事業は大変有効であり、今後も是非継続強化を図ってほしいと思います。
--------------	--



事業名	小学校教科担任制推進事業
担当課等	教職員課
事業概要	市立小学校高学年の教科担任制を推進し、専門的な指導により学力の向上を目指すため、専科指導を行う教員がいない普通学級8学級以下の小規模校などに非常勤講師を派遣しました。
24年度実績	(実施校) 市立小学校2校、派遣人数 2人
成果と課題・今後の取組等	学級担任以外の教諭からも授業を受けることで、児童の学習意欲の向上がみられ、担任が非常勤講師と学習面や生活面について情報交換をすることができ、児童に対する理解を深めることができました。



事業名	中学校生徒支援推進事業
担当課等	教職員課
事業概要	生徒指導上課題のある学校において、生徒指導を担当する教員の授業数の軽減や複数での指導を行い生徒を支援するため、非常勤講師を配置しました。
24年度実績	(派遣校) 市立中学校3校、派遣人数 3人
成果と課題・今後の取組等	非常勤講師の派遣により、課題のある生徒に対して効果的な指導などを行うことができました。 今後も、落ち着いた学校生活や学力の向上を図るため、事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	生徒指導上、様々な課題を抱えた学校においては、複数の教員が多くの時間を生徒の指導に充てている現状がありますが、非常勤講師の派遣により、よりきめ細かな指導の時間が確保され、学校全体の学習環境の向上に大きな効果を上げています。今後も事業の継続と強化を図ってほしいと思います。
--------------	--



事業名	小中一貫教育推進事業
担当課等	教職員課
事業概要	教育委員会が指定した小・中学校において、中学校教員が学区の小学校で授業をすることで小・中学校の連携を図り、小中一貫教育を推進するため、中学校に非常勤講師を派遣しました。
24年度実績	(実施校) 市立小・中学校各2校、派遣人数 2人
成果指標	児童アンケートによる中学校入学に対する期待度 83.0%
成果実績	児童アンケートによる中学校入学に対する期待度 78.0%
成果と課題・今後の取組等	小・中学校それぞれの教育の実際を知り、連携を深め、また、中学校の学習内容を踏まえた関連性のある学習指導ができたことにより、小中一貫教育を推進する上で、大きな効果がありました。 今後も、小・中学校の連携を一層効果的なものとしていくため、事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	小・中学校教員の連携強化を図る中で、義務教育9年間を見通した効果的な学習指導の在り方の研究協議を続けてほしいと思います。また、その成果を更に広げるためにも事業の継続を望みます。
--------------	--



事業名	学校ICTサポーター事業
担当課等	教育研究所
事業概要	児童・生徒がICTを活用できるように支援するため、パソコンを使った授業の補助などを行う学校ICTサポーターを、市立小・中学校に配置しました。
24年度実績	配置人数 ICTサポーター4人 派遣回数 延べ580回（市立小・中学校全36校） 年間配置日数 各小学校17.5日、各中学校13.6日
成果指標	PCを活用した授業は分かりやすいという児童・生徒の意見の割合85.0%
成果実績	PCを活用した授業は分かりやすいという児童・生徒の意見の割合79.1%
成果と課題・今後の取組等	学校ICTサポーターの配置により、児童・生徒及び教職員が授業などで情報機器を支障なく利用することができました。 平成25年度についても、効果的な配置を行います。

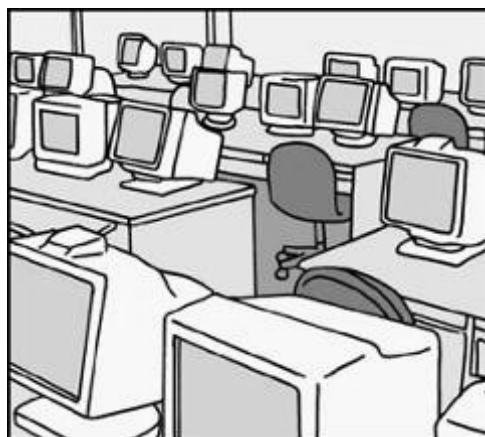
点検・評価委員からの意見	児童・生徒や教職員が限られた授業時間の中で、情報機器を有効に活用できるようにするためには、学校ICTサポーターの配置は効果があり、今後も事業の継続が必要と思います。
--------------	--



事業名	小学校ICT化推進事業
担当課等	教育研究所
事業概要	「確かな学力」を身に付けるために、ICTを活用した授業を展開し、児童に学習への興味を持たせ、ICTを活用できる教育環境の向上を図りました。
24年度実績	合計利用時間数 14,201時間（市立小学校全23校） 1校平均利用時間数 617.4時間
成果指標	PCを活用した授業は分かりやすいという児童の意見の割合 85.0%
成果実績	PCを活用した授業は分かりやすいという児童の意見の割合 81.1%
成果と課題・今後の取組等	配信デジタル教材について、小学生の学習において一層の活用の推進を図りました。 今後も、確かな学力を身に付けるための適切なICT環境について、円滑で確実な利用のための保守管理などの充実を図ります。



事業名	中学校 I C T 化推進事業
担当課等	教育研究所
事業概要	「確かな学力」を身に付けるために、I C T を活用した授業を展開し、生徒に学習への興味を持たせ、I C T を活用できる教育環境の向上を図ります。
24年度実績	合計利用時間数 4,833時間（市立中学校全13校） 1校平均利用時間数 371.7時間
成果指標	P C を活用した授業は分かりやすいという生徒の意見の割合 85.0%
成果実績	P C を活用した授業は分かりやすいという生徒の意見の割合 72.7%
成果と課題・今後の取組等	配信デジタル教材について、中学生の学習において一層の活用の推進を図りました。 今後も、確かな学力を身に付けるための適切な I C T 環境について、円滑で確実な利用のための保守管理などの充実を図ります。



【基本方針1に対する点検・評価委員からの総括的意見】

児童・生徒の学力向上や、特色ある学校づくりを目指し展開する様々な活動については、人的・物的・予算的な面から直接的に支援する重要かつ効果的な事業であり、継続と更なる充実を期待します。

学力、すなわち学ぶ・学びとる力というのは、総合力としての力と捉えて、学習調査での数値結果だけにとらわれることなく、基本方針に沿って進めてきた主要事業のより一層の充実を図る中で、子供たちに「分かる喜び」「学ぶ楽しさ」などを体験させることで、学力は向上してくると思われます。

厚木市の確かな学力を身に付ける教育を推進するための事業は、小・中学校がそれぞれの学校状況にあった事業を展開するために有効に機能していると思います。また、児童・生徒の学習意欲を高め、一人一人に適したきめ細かな指導を行うための人的配置も様々な事業があり、高い効果をあげていると思います。今後とも更なる「確かな学力」の向上に向けて、人的支援事業の継続強化を図っていただきたいと思います。

基本方針2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

2－①

事業名	厚木小学校給食施設整備事業
担当課等	保健給食課
事業概要	厚木小学校の単独調理場建設を、平成23年度及び平成24年度の継続事業で実施しました。
24年度実績	・ 本体工事、衛生工事、電気工事、空調工事を全て完了 ・ 調理機器及び消耗品の搬入も完了し、平成25年4月から単独調理場方式の給食を開始
成果指標	平成24年度までの単独調理場整備済校数 17校
成果実績	平成24年度までの単独調理場整備済校数 17校
成果と課題・今後の取組等	厚木小学校単独調理場は事業計画どおり完成しました。 今後も、教育的効果を高めるために、安全性や衛生管理のより一層の確保を図ります。

点検・評価委員からの意見	厚木小学校単独調理場の完成により、児童にとって学校給食がより身近なものとなり、食材や調理への関心も高まると思われます。また、地域の特色や学校行事をいかした献立などの工夫により、食への関心を更に高め、自分の食生活を考える機会にもできると思います。
--------------	---



2-②

事業名	学校給食への地場農産物導入事業
担当課等	保健給食課
事業概要	児童の食育に対する関心を高めるため、市立小学校の給食において、月2回「パクパクあつぎ産デー」として、地元の農産物を給食に使用しました。
24年度実績	市立全小学校において、月2回「パクパクあつぎ産デー」として学校給食に地元の農作物を使用し、市立中学校（一部）においても試行的に2回「パクパクあつぎ産デー」として、学校給食に地元の農作物を使用しました。
成果指標	市立小学校全23校での実施回数 22回
成果実績	市立小学校全23校での実施回数 22回
成果と課題・今後の取組等	地元の農作物を使用し、地域の特色をいかした献立（郷土料理など）の多様化を図ることにより、厚木市の農業や歴史・文化・風習を学習する教育的効果が得られました。

点検・評価委員からの意見	児童・生徒が、地元の食文化や農作物に関心を持ち、地産地消の意義を理解することができる大切な食育の機会となると思います。登下校時や遠足時にも、田畑の農作物に関心を寄せ、季節を感じ、地元の農業を大切にしていくなを養ってほしいと思います。
--------------	--



2-③

事業名	郷土資料館活動推進事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	多くの市民に郷土の歴史や文化などを伝えるため、郷土資料館で収蔵している資料などを活用し、展示や講座を開催しました。
24年度実績	多くの市民に郷土の歴史や文化などを伝えるため、8回の展覧会のほか、郷土資料館で収蔵している資料や知見などを活用し、12講座を開講、72回実施しました。
成果指標	日常来館者及び行事参加者人数 7,300人
成果実績	日常来館者及び行事参加者人数 13,162人
成果と課題・今後の取組等	収蔵している資料を活用した各種展示会や講座、講演会などを開催し、多くの市民に、郷土の歴史や文化について伝えることができました。今後も、多くの市民に郷土の歴史や文化などを伝えるため、より効率的、計画的に展覧会、講座を実施します。

点検・評価委員からの意見	厚木の歴史・文化・自然などに関する特別展示の案内を、市広報や公民館だよりなどでよく目にするようになりました。今後も、驚きと発見のある様々な企画や展示方法を工夫するとともに、学芸員の方の解説・説明力や案内・広報の表現力も高め、市民の興味・関心を集める郷土資料館活動を更に推進してほしいと思います。
--------------	---



2-④

事業名	郷土資料館特別展示事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	多くの市民に郷土の歴史や文化などを伝えるため、調査や研究などによって得た、歴史・民俗・自然の分野に関する資料を展示しました。
24年度実績	「あつぎ 縁起書の世界―神さま仏さまのプロフィール―」(11月～12月)を実施し、市域の神社、寺院の歴史、霊験などが記された縁起書を中心に、勸化帳、お札など様々な信仰資料を展示しました。 また、資料を読み解くことより、縁起の物語は、古代に遡り、世界につながる広がりをもち、現代にまでつながります。厚木市と周辺地域の社寺の縁起資料のもつ貴重性を指摘し、信仰の歴史を考えました。
成果指標	特別展来館者人数 1,150人
成果実績	特別展来館者人数 1,014人
成果と課題・今後の取組等	市民がより楽しめるものとなるよう、展示内容に工夫が必要でした。 また、大山信仰が一つの中心テーマのため、厚木市域の寺院、神社に関する講演会、行事の内容が手薄であったので、今後は、更なる検討を行います。



2-⑤

事業名	ブックスタート事業
担当課等	中央図書館
事業概要	赤ちゃんの言葉と心を育むため、0歳児を持つ保護者の方に、絵本やブックリストを手渡ししながら、赤ちゃんと周りの大人がふれあい、言葉と心を通わすことの大切さや楽しさを伝えました。
24年度実績	年度当初にポリオ予防接種が集団接種から個別接種に変更になったことに伴い、保健センターから児童館・公民館・中央図書館など、場所を変更して開催しました。変更した会場の多くはブックスタートのみの開催であったことから、参加者数は少なく目標値を達成することができませんでした。
成果指標	参加する赤ちゃんの人数 1,000人
成果実績	参加する赤ちゃんの人数 770人
成果と課題・今後の取組等	ポリオ予防接種会場のように、乳児が多数集まる会場がないため、特に読書に興味のない家庭にどう働きかけていくかが課題です。 今後は、公民館や児童館、中央図書館での開催を増やします。

点検・評価委員からの意見	乳児の言葉と心を育み、保護者同士のふれあいの機会としても有効な事業であると思います。また、たくさんの絵本が出ている中で、幼児の発達段階に適した絵本の紹介はとても大切です。今後も、多くの保護者に事業を周知するとともに、言葉の発達においてより大切な時期である1歳児も対象にして、事業を継続してほしいと思います。
--------------	---



2-⑥

事業名	子ども読書活動推進事業
担当課等	中央図書館
事業概要	「読書大好きあつぎっ子」を育成するため、家庭における読み聞かせを推進する公演やおはなし会などを実施しました。 ボランティア講座を開催し、子供の読書活動を推進しました。
24年度実績	子供の読書活動推進を考えるワークショップやブックトーク講座、読み聞かせ講座など、子供の読書活動に関わる方やボランティア活動を行っている方が多数参加されました。
成果指標	事業への参加者数 5,500人
成果実績	事業への参加者数 5,400人
成果と課題・今後の取組等	平成25年3月に「第2次子ども読書活動推進計画」を策定しました。 新たに「あつぎ家庭読書の日」（毎月第3水曜日）を設け、保護者などに家庭での読み聞かせや親子読書活動の必要性について周知と啓発を図ります。 特に、子供の読書活動の推進においては、市民のボランティア活動が大きな力となることから、ボランティア養成講座や読書ボランティア調査及び交流会を実施し、連携を深めるとともに支援に努めます。

点検・評価委員からの意見	小・中学校の蔵書数には限りがあるので、中央図書館と学校が連携し、出前講座やわかあゆ号の活用などを通して、子供の読書活動を推進してほしいと思います。その際には、市内の多くの読書ボランティアの力が更にいかされることと思います。
--------------	--



2-⑦

事業名	青少年教育相談事業
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	児童・生徒とその保護者及び学校や教職員が抱える問題の解決のため、来所相談を始め、相談員の家庭訪問・学校への派遣・配置などによる相談活動を行いました。
24年度実績	来所相談 4,470件、電話相談 545件、家庭訪問相談 531件、メール相談 10件、小学校スクールカウンセラー相談 3,384件、学校コンサルテーション 115件（数値は全て延べ数）の相談活動を通して、児童・生徒及びその保護者に対する支援を実施しました。
成果指標	継続相談終結率 55.0%
成果実績	継続相談終結率 58.5%
成果と課題・今後の取組等	小・中学校との積極的な連携に加え、教育ネットワークコーディネーターの導入による医療・福祉との連携支援が進んだことなどにより、主訴解消による相談終結率が向上しました。 しかし、相談内容は年々深刻・複雑化しており、今まで以上に時間がかかることから、今後もセンターでの対応能力向上を図るとともに、小・中学校や保護者に対しての、発達課題への理解や保護者対応などの研修を積極的に進めていきます。

点検・評価委員からの意見	児童・生徒が、明るく生き生きとした学校生活を送ることができるように、保護者と教職員の信頼関係を高め、問題解決を図るために、本事業の専門的で積極的な相談活動は大変有効であると思います。 ただし、最近の様々な事件を考えると、各学校の教職員が、児童・生徒の課題に応じた専門的知識や具体的な対応方法に関する研修を積む機会を、更に増やす必要があると思います。
--------------	--



2-⑧

事業名	登校支援推進事業
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	不登校を未然に防ぐため、毎月実施する学校計画訪問を通して状況把握を行い、課題解決に向けた様々な対策を学校と連携しながら運営しました。
24年度実績	学校教育指導員による計画的な学校訪問を実施して学校から情報を収集し、各学校の状況に応じた指導・助言を行いました。(年間360回)
成果指標	不登校の出現率 小学校 0.31% 中学校 3.01%
成果実績	不登校の出現率 小学校 0.40% 中学校 3.70%
成果と課題・今後の取組等	今後も、不登校の早期発見・早期対応、未然防止を目指して、児童・生徒の心の問題に寄り添い、学校との連携を密にとりながら事業を展開します。

点検・評価委員からの意見	児童・生徒の不登校問題は、小・中学校において大きな課題となっていますが、相談体制は充実してきていると思います。不登校の未然防止・早期発見・早期対応・早期解決のためには、教職員の意識改革と協力態勢、保護者・関係機関との連携が重要ですが、そのためには時間確保も含めた人的支援が必要です。一人一人の子供に、日々密に寄り添うことができるよう事業の継続が必要であると思います。
--------------	---



2-⑨

事業名	適応指導教室運営事業
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	不登校児童・生徒が、小集団での学習や体験活動を通して心の安定を図り、自信を取り戻して学校や社会生活に適応していけるようにするため、個に応じた支援や学習指導を行いました。
24年度実績	相談指導教室通室生人数 14人（中学生） 適応指導ルーム通室生人数 14人（中学生）
成果指標	在籍校復帰率 75.0%
成果実績	在籍校復帰率 96.4%
成果と課題・今後の取組等	対人関係に様々な課題を抱えている不登校児童・生徒に対して、体験的活動を多く取り入れた行事やきめ細かな学習指導、小集団活動などによる適応指導を推進してきた成果として、部分登校を含め多くの児童・生徒が学校への登校ができるようになりました。 今後も、安心して居られる場所として、更に学校復帰や社会自立につながるような指導方法の工夫をし、効果的な事業展開を進めます。

点検・評価委員からの意見	対人関係に様々な課題を抱えて不登校となっている児童・生徒が、適応指導教室でのきめ細かな学習指導や体験的活動を通して、自分の居場所を見だし、主体的に行動できるようになるなど、成果は非常に大きいと思います。今後も一人一人に適した社会的自立のための支援を、強力で推進してほしいと思います。
--------------	--



【基本方針2に対する点検・評価委員からの総括的意見】

児童・生徒の心身の健全な成長を図るためには、家庭・学校・地域社会を始め、各種専門機関等が、それぞれの機能を自覚し、互いに働きかけ合いながら、効果的な事業の展開に努めることにより、子供たちを取り巻く環境を、より良いものにしていくという想いを常に確認し合うことを大切にしてほしいと思います。

児童虐待や不登校の問題は非常に深刻で、児童・生徒と担任や担当教員だけでは早期の十分な解決が困難な場合が多いと思います。そこでこれらの事業を通して、早期の発見ができるような実践的な教員研修と、子供の心に寄り添うことができるような教員の資質向上・意識改革の研修を重ねることにより、教職員が専門機関への早期相談と連携の必要性を認識した、日々の教育活動が行われるように、事業の更なる推進を望みます。

基本方針3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

3-①

事業名	教育調査研究部会運営事業
担当課等	教育研究所
事業概要	教育の新たな動向や今日的な課題に対応するため、教職員や市民の方々などで構成する研究部会をテーマごとに設け、毎月1回部会を開き、課題解決に向けての調査研究や、教材・資料の作成を行いました。
24年度実績	教育調査研究部会 4部会設置・運営 部会開催延べ回数 48回(4部会合計) 研究に携わった教職員・市民 30人
成果指標	研究会参加者による研究成果の実用度 85.0%
成果実績	研究会参加者による研究成果の実用度 89.4%
成果と課題・今後の取組等	教育の場における様々な課題や新たな教育の動向について、具体的な方策を提起しました。 今後も、今日的課題などについて研究を積み重ね、研究成果を発信し、教職員の質の向上を図るため、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	教育の今日的課題に対応するテーマごとの研究部会では、様々な立場での意見交換や調査研究が活発に行われていて、その研究成果の発表方法も含め、教職員の広い視野を養い、資質・能力の向上に役立っていると思います。
--------------	---



3-②

事業名	教育資料提供事業
担当課等	教育研究所
事業概要	家庭・学校・地域社会における教育を支援するため、児童・生徒用の教材や研究紀要などを作成・提供し、教職員の実践をまとめた教育実践記録集の発行や、教育に関する資料の収集・提供も行いました。
24年度実績	・小学校社会科副読本・地形図 2,200部発行 ・中学校社会科副読本・地形図 2,200部発行 ・小学校放射線教育資料 13,500部発行 ・中学校放射線教育資料 7,500部発行 ・研究紀要85集 1,000部発行 ・教育実践記録39集 300部発行
成果と課題・今後の取組等	小・中学校社会科副読本の修正増刷を始め、社会情勢などによる教育環境の変化に対応するための最新の教育資料として、放射線教育に関する指導資料などの教材を作成・収集・提供しました。 今後も、教職員の質の向上を図るため、様々な教育的ニーズや今日的課題についての研究成果を発信します。

点検・評価委員からの意見	最新の情報を取り入れた児童・生徒用の副読本教材は大変有効で実用的であると思います。今後は、教職員に対しても、社会情勢や教育環境の変化に応じた資料や情報の提供を、更に推進してほしいと思います。
--------------	--



3-③

事業名	先生のための研修事業
担当課等	教育研究所
事業概要	教職員の指導力向上を支援するため、教育課題研修や教科指導研修、I C T活用研修などの各講座や、教育研究発表会・教育講演会を開催しました。
24年度実績	開催数 21回、参加教職員数 602人(延べ998人)
成果指標	研修講座参加者による研修内容の実用度 100.0%
成果実績	研修講座参加者による研修内容の実用度 93.8%
成果と課題・今後の取組等	教育研究発表会や各種の希望制研修などにより、教職員の意欲や資質の向上を図りました。経験年数に関わらず、若手とベテランが学校間を越えた専門的な課題などを共に学び合う場は、とても活気があります。 今後も、参加しやすい状況を考慮して事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	教育ニーズに対応した研修事業への参加を通して、教職員の意欲や資質の向上を図ることは、各学校の活発な教育活動の実践につながります。今後も多くの教職員が参加しやすい状況づくりを検討しつつ、事業を推進してほしいと思います。
--------------	--



【基本方針3に対する点検・評価委員からの総括的意見】

教職員が各種研修講座に自ら参加を希望し、指導等に係る資質や能力の向上を図ろうとする意欲は高いものを感じます。多忙な先生方が少しでも参加しやすくなるよう、研修講座の開催日時や講座の内容、また、先生方を対象にした教育相談体制等の更なる工夫・改善を通し本事業の一層の充実と発展を期待します。

年間数多く実施されている教職員対象の研修事業は、毎年内容も工夫されていて、参加者の意欲を高め、指導力向上に大変役立っていると思います。

今後も、教職員が今日的教育課題を十分把握し、児童・生徒・保護者の多様なニーズに日々対応する際に、自信を持って指導できるような実践的研修を、更に推進してほしいと思います。

基本方針4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

4－①

事業名	小学校校舎・体育館改修事業
担当課等	学校施設課
事業概要	児童が安全で快適な教育環境の中で学校生活を送れるよう、校舎の外壁などの改修工事を実施しました。
24年度実績	トイレ改修 北小学校 外壁・屋上改修 緑ヶ丘小学校
成果指標	トイレの改修率 41.0%
成果実績	トイレの改修率 41.0%
成果と課題・今後の取組等	教育環境の向上及び安全の確保と施設の長寿命化を図ることができました。 今後も、計画的に施設改修工事を実施します。

点検・評価委員からの意見	小・中学校のトイレが、明るく清潔で、快適な施設に改修されることにより、児童・生徒は安心して落ち着いた学校生活を送ることができるので、事業の継続推進を望みます。
--------------	---



4-②

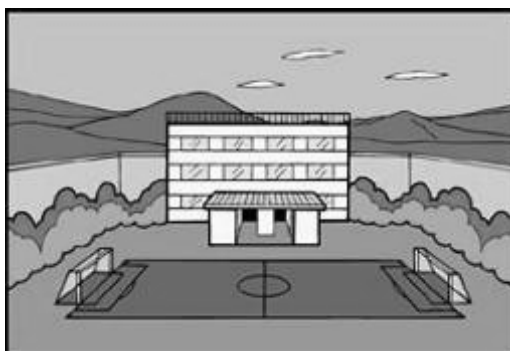
事業名	中学校校舎・体育館改修事業
担当課等	学校施設課
事業概要	生徒が安全で快適な教育環境の中で学校生活を送れるよう、校舎の外壁などの改修工事を実施しました。
24年度実績	トイレ改修 睦合東中学校 外壁改修 小鮎中学校 特別教室改修 玉川中学校 放送設備改修 厚木中学校
成果指標	トイレの改修率 38.0%
成果実績	トイレの改修率 38.0%
成果と課題・今後の取組等	教育環境の向上及び安全の確保と施設の長寿命化を図ることができました。 今後も、計画的に施設改修工事を実施します。

点検・評価委員からの意見	小・中学校のトイレが、明るく清潔で、快適な施設に改修されることにより、児童・生徒は安心して落ち着いた学校生活を送ることができるので、事業の継続推進を望みます。
--------------	---



4－③

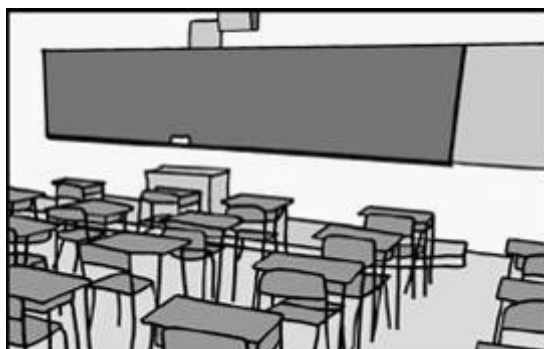
事業名	中学校校庭整備事業
担当課等	学校施設課
事業概要	生徒が安全で快適な屋外施設環境の中で学校生活を送れるよう、校庭の整備を実施しました。
24年度実績	南毛利中学校
成果指標	校庭整備 1校
成果実績	校庭整備 1校
成果と課題・今後の取組等	校庭整備をすることにより、安全で快適な屋外教育環境を確保することができました。 今後も、計画的に校庭整備工事を実施します。



4－④

事業名	小学校教室冷暖房設備設置事業
担当課等	学校施設課
事業概要	快適な学習環境の整備を図るため、市立小学校の教室へ冷暖房整備方針を策定しました。
24年度実績	冷暖房設備の設置に係る整備手法やエネルギー方式などについて、最も効率的な手法の検討を進め、整備方針を決定しました。
成果指標	冷暖房整備方針の策定
成果実績	冷暖房整備方針の策定
成果と課題・今後の取組等	整備方針を策定しましたので、今後は、中学校の冷暖房設備設置後に設置工事を実施します。

点検・評価委員からの意見	温暖化が進む中、児童・生徒の学習環境の整備を図ることは重要であると思います。調査結果を踏まえ、小・中学校の普通教室に冷暖房設備が設置されることにより、今後は快適な環境の中で、より集中して学習に取り組むことができるようになると思います。全小・中学校への事業の計画的推進を望みます。
--------------	---



4－⑤

事業名	中学校教室冷暖房設備設置事業
担当課等	学校施設課
事業概要	快適な学習環境の整備を図るため、市立中学校の教室に冷暖房整備方針を策定しました。
24年度実績	冷暖房設備の設置に係る整備手法やエネルギー方式などについて、最も効率的な手法の検討を進め、整備方針を決定しました。
成果指標	冷暖房整備方針の策定
成果実績	冷暖房整備方針の策定
成果と課題・今後の取組等	整備方針を策定しましたので、今後は、冷暖房設備を設置します。

点検・評価委員からの意見	温暖化が進む中、児童・生徒の学習環境の整備を図ることは重要であると思います。調査結果を踏まえ、小・中学校の普通教室に冷暖房設備が設置されることにより、今後は快適な環境の中で、より集中して学習に取り組むことができるようになると思います。全小・中学校への事業の計画的推進を望みます。
--------------	---



4－⑥

事業名	高等学校等修学旅行費支援金
担当課等	学校教育課
事業概要	経済的な理由により修学旅行に参加することが困難な生徒又はその保護者に、経費の一部を支給しました。
24年度実績	認定者 156人 支給額 4,680,000円
成果と課題・今後の取組等	経済的な理由で修学旅行への参加が難しい生徒やその保護者に対し、修学旅行費の一部を支給することにより、生涯の思い出づくりをサポートし、生徒たちの学校生活の充実につなげることができました。

点検・評価委員からの意見	近年の社会的・経済的状況により、修学旅行に参加することが困難な生徒は増加しています。今後も、このような生徒が友達とともに行事に参加し、充実した学校生活を継続することができるよう事業の推進を望みます。
--------------	---



4-⑦

事業名	児童・生徒登下校等安全推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	児童・生徒が安心して登下校できるようにするため、防犯ブザーの配布や学童通学誘導員の配置などを行いました。
24年度実績	市立小学校全23校 配布実績 防犯ブザー計3,800個
成果指標	児童の防犯ブザー携帯率 90.0%
成果実績	児童の防犯ブザー携帯率 73.5%
成果と課題・今後の取組等	学童通学誘導員については、市内小学校通学路計6箇所配置し、防犯ブザーについては、ポスターの掲示や、学校を通じた指導などの対策を講じて携帯率を向上させます。

点検・評価委員からの意見	- 児童・生徒を取りまく環境は、決して安心安全が守られている状況とは言えず、本人たちの心構えと並行して安心安全環境を醸成していく必要があります。そのためには、家庭・地域・学校・警察などの組織が連携して情報を共有することが大切であり、その推進役として行政がどう関わり事業を進めるかが問われています。教育委員会のみならず他の部局とも横の連絡を密にすることを望みます。 - 児童・生徒の登下校時の安全確保を図るため、通学路の歩道やガードレールの整備の必要箇所を再確認し、関係機関と連携して設置を進めてほしいと思います。災害時も含めた登下校時の緊急対応の方法について、全体的な対応策と各学校に応じた対応策を早急に見直すとともに、教職員一人一人の危機管理意識を高める研修が必要と思います。
--------------	--



4-⑧

事業名	要保護及び準要保護児童就学援助事業（小学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
24年度実績	準要保護者 2,085人、要保護者 97人、支給額 123,885,060円
成果と課題・今後の取組等	経済的な理由により、就学が困難な児童の割合は横ばいの状況であり、今後も継続的な支援が必要です。 なお、増加する扶助費の増に伴う対策も、併せて検討します。

点検・評価委員からの意見	経済的な理由により就学困難な家庭はますます増加していると思います。教育格差が生じないように、今後も継続的な支援が必要だと思います。
--------------	---



4-⑨

事業名	要保護及び準要保護生徒就学援助事業（中学校）
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
24年度実績	準要保護者 1,212人、要保護者 56人、支給額 109,298,434円
成果と課題・今後の取組等	経済的な理由により、就学が困難な生徒の割合は横ばいの状況であり、今後も継続的な支援が必要です。 なお、増加する扶助費の増に伴う対策も、併せて検討します。

点検・評価委員からの意見	経済的な理由により就学困難な家庭はますます増加していると思います。教育格差が生じないように、今後も継続的な支援が必要だと思います。
--------------	---

事業名	小学校特別支援学級等就学奨励事業
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、特別支援学級などに就学する児童の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
24年度実績	特別支援学級通級者 143人、ことばの教室通級者 49人 支給額 4,660,126円
成果と課題・ 今後の取組等	保護者の経済的負担が軽減できたとともに、教育環境の水準を維持できました。 経済的な理由による就学が困難な児童・生徒の割合は増加しており、教育機会均等を進める上でも重要な事業ですので、今後も継続的な支援をします。

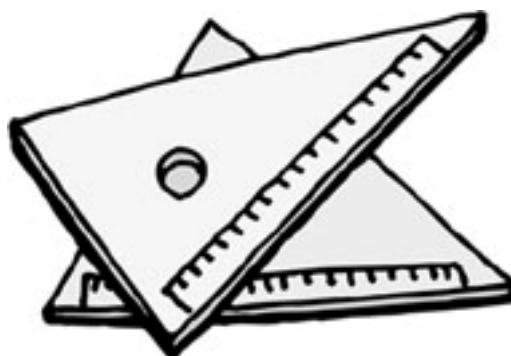
点検・評価委員からの意見	教育の機会均等を図り、教育環境の水準を維持するために大変重要な役割を担っていると思います。今後も継続的な支援を望みます。
--------------	--



4－⑪

事業名	中学校特別支援学級就学奨励事業
担当課等	学校教育課
事業概要	教育の機会均等を図るため、特別支援学級に就学する生徒の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給しました。
24年度実績	特別支援学級通級者 59人、支給額 3,132,016円
成果と課題・今後の取組等	保護者の経済的負担が軽減できたとともに、教育環境の水準を維持できました。 経済的な理由による就学が困難な児童・生徒の割合は増加しており、教育機会均等を進める上でも重要な事業ですので、今後も継続的な支援をします。

点検・評価委員からの意見	教育の機会均等を図り、教育環境の水準を維持するために大変重要な役割を担っていると思います。今後も継続的な支援を望みます。
--------------	--



事業名	就学指導事業
担当課等	学校教育課
事業概要	特別な支援を必要とする子供の適切な就学相談、就学指導を行うため、「厚木市心身障害児就学指導委員会」を運営し、特別支援教育の充実を図りました。
24年度実績	就学相談 年間4回、就学指導委員会 年間5回
成果と課題・今後の取組等	就学相談及び心身障害児就学指導委員会を開催し、特別な支援を必要とする児童・生徒一人一人の障がいの種類や程度、能力、適性などを的確に判断し、保護者の意見や、教育・医学・心理学などの専門的な見地から意見を踏まえ、きめ細やかな就学相談・就学指導を実施しました。 今後も、各学校において特別な支援を必要とする児童・生徒が増加していく中で、個々の状況やニーズに応じて適切な指導を受けられる環境を整備するため、事業を継続します。

点検・評価委員からの意見	各学校において、特別な支援を必要とする児童・生徒が増加している中で、保護者が安心して就学相談ができるよう配慮しつつ、子供のニーズに応じた専門的で適切な指導・助言が行われています。今後も本事業の推進を望みます。
--------------	---



事業名	特別支援教育推進事業
担当課等	学校教育課
事業概要	特別な支援を必要とする児童・生徒に対して適切な支援・指導の充実を図るため、総合的な支援体制を整備しました。
24年度実績	特別支援教育介助員 配置人数 71人 特別支援教育巡回相談員 派遣回数 42回 神奈川県立伊勢原養護学校 通学送迎人数 26人
成果指標	巡回相談の実施報告書による校内の支援体制の充実度 80.0%
成果実績	巡回相談の実施報告書による校内の支援体制の充実度 94.4%
成果と課題・今後の取組等	特別支援教育巡回相談員の派遣や特別支援教育介助員の配置、伊勢原養護学校への児童・生徒の送迎などにより、個々の状況やニーズに応じて適切な指導を受けられる環境を整備しました。 今後も、特別な支援を必要とする児童・生徒のよりよい学校生活の実現のため、総合的な支援体制を推進します。

点検・評価委員からの意見	巡回相談員の派遣・特別支援教育介助員の配置・伊勢原養護学校への送迎などは、特別な支援を必要とする児童・生徒や、保護者、教職員にとって大変重要で有効なものであると思います。今後も是非事業の継続強化を望みます。
--------------	---



事業名	外国籍児童・生徒等支援事業
担当課等	学校教育課
事業概要	日本語の理解が十分でない児童・生徒への指導や支援を行うため、日本語指導協力者などを派遣しました。
24年度実績	派遣校 小学校11校、中学校7校 派遣人数 17人
成果指標	日本語指導が必要な児童・生徒支援のための人材派遣 100.0%
成果実績	日本語指導が必要な児童・生徒支援のための人材派遣 100.0%
成果と課題・今後の取組等	日本語が理解できず、学校生活に支障を来している外国籍児童・生徒及び帰国児童・生徒に対し、指導や支援の充実を図ることによって、国際社会に対応した教育を推進しました。 今後も、日本語が理解できない外国籍の児童・生徒が増加する現状の中、事業を積極的に推進します。

点検・評価委員からの意見	日本語の理解が十分でない外国籍の児童・生徒への支援として、日本語指導協力者が学校に派遣されることで、一定の成果を上げています。 しかし、日常会話ができるようになっただけでは、小学校高学年・中学校の授業を理解することはできず、高校進学や就職も非常に困難な状況となっています。そのような中では、友達と生き生きとした学校生活を送ることも難しく、別の課題を抱えることになりがちです。 今後は、高学年の授業内容が理解できるレベルの日本語指導を行うための、人材・教材・時間を確保した積極的な事業の推進を強く望みます。
--------------	---



事業名	学校支援プロジェクトチーム事業
担当課等	学校教育課
事業概要	児童・生徒の問題行動を解決するため、関係機関などと連携してプロジェクトチームを組織し、一人一人に適した対応を図りました。
24年度実績	定期的な学校訪問 小・中学校全36校、訪問回数 103回 学校支援プロジェクト推進会議 中学校4校、11回開催
成果指標	問題行動などが解消・改善した割合 65.0%
成果実績	問題行動などが解消・改善した割合 75.0%
成果と課題・今後の取組等	全36校を対象にした定期的な学校訪問を学期に1回以上実施し、管理職や児童・生徒指導担当教員から学校の実態や課題などを聞く中で、適切な指導・助言をすることができました。 また、プロジェクトチーム対象校4校に対しては、関係機関との綿密な連携の下、困難を抱える生徒への指導をする学校及び教員に適切な支援をすることができました。 今後も、児童・生徒の問題行動やいじめに関する早期発見・早期対応のために、学校訪問やプロジェクトチームによる対応を積極的に推進します。

点検・評価委員からの意見	児童・生徒の問題行動に対し、早期に適切に対応するためには、関係機関と連携した組織的対応が必要です。そのような対応により、児童・生徒の心に寄り添う指導ができ、保護者との信頼関係も深めることができます。十分な成果も見られるようなので、今後も是非本事業を継続してほしいと思います。
--------------	--



【基本方針4に対する点検・評価委員からの総括的意見】

小・中学校は、成長期にある児童・生徒が1日の大半を9年間過ごす場であり、物理的にも精神的にも子供たちの心身の成長に大きな影響を与えています。各種施設や設備等の整備は、多額の予算を必要としますが、市内36校を広く見通して、計画的に物的環境の改修や設置を進めてほしいと思います。

また、経済的にも家庭的にも様々な課題を抱えている環境にある児童・生徒に対する各種事業も、教育の機会均等という重要な観点からも一層の充実を期待します。

校舎の耐震補強工事、トイレの改修工事、普通教室冷暖房設備設置調査等、厚木市の学校施設整備は、子供たちの安心・安全に十分配慮した様々な事業が積極的に推進されていると思います。また、校舎等で老朽化した箇所の補強や改修も早期に行われ、各学校の教育環境の充実が図られていると思います。

基本方針5 教育の原点である家庭教育を支援します。

5-①

事業名	家庭教育学級交付金
担当課等	社会教育課
事業概要	教育の原点である家庭教育の充実を図るため、幼稚園保護者会、小・中学校PTAなどが家庭教育学級を開設できるように支援しました。
24年度実績	市立全小・中学校PTA（36校）、私立初等学校保護者会（1校）及び幼稚園保護者会（16園）で家庭教育学級を開設
成果指標	家庭教育学級開設数 53団体
成果実績	家庭教育学級開設数 53団体
成果と課題・今後の取組等	学級開設に当たり実施内容や講師などについて、手引きを作成するとともに適切な助言を行うことにより、より充実した事業実施が可能となりました。今後も、家庭教育の推進を図られるよう支援します。

点検・評価委員からの意見	今後は、保護者や地域からの要望を把握した上で、例えば、携帯電話がもたらす課題や問題についてなど、家庭教育にとって身近なテーマについて講座を開催することで、更に家庭教育の推進を図ることができると思います。
--------------	--



5-②

事業名	家庭教育情報提供事業
担当課等	社会教育課
事業概要	家庭教育の必要性や重要性を理解していただくため、市民の方々を対象に講演会や研修会を開催し、必要な情報を提供しました。
24年度実績	家庭教育情報提供事業講演会 開催回数 3回、参加者合計数 515人
成果指標	講演会等参加者数 320人
成果実績	講演会等参加者数 515人
成果と課題・今後の取組等	ニーズにあった講演内容を実施することができましたので、今後も、参加者が満足できる内容を実施できるように、幼稚園保護者会や小中学校PTAと要望・課題を調整しながら、事業を推進します。

点検・評価委員からの意見	今後も、家庭教育情報として、保護者のニーズにあった講演内容の提供を望みます。
--------------	--



5-③

事業名	「早寝早起き朝ごはん」啓発推進事業
担当課等	社会教育課
事業概要	成長期の子供の健やかな成長のために、早寝早起き朝ごはんの大切さを、保護者の方などに積極的にPRしました。
24年度実績	啓発用チラシ等配布 107回 (各地区公民館まつり、各小学校就学前検診・就学時説明会、各小学校区地域子ども教室ほか)
成果と課題・今後の取組等	乳幼児や小学生などの保護者を中心に啓発用チラシや物品などを配布し、効果的な啓発活動を展開しました。 今後も、積極的に啓発対象や場所を拡大しながら推進します。

点検・評価委員からの意見	「早寝早起き朝ごはん」の大切さを保護者に広くPRすることは必要なことだと思いますが、単に啓発事業として推進するだけでなく、子供の実態を把握し、課題解決につながるような啓発活動を推進してほしいと思います。
--------------	---



【基本方針5に対する点検・評価委員からの総括的意見】

保護者への啓発を中心にした事業であるが、個々の資質の向上だけでなく、参加者同士の横のつながりを深める工夫をすることにより、子育て等で誰もが抱えているであろう様々な悩みや課題の解決につながり、効果的な糸口になるのではないかと期待されます。

就学児や乳幼児を持つ保護者のみならず、広く一般に保護者の大切さと重要性を自覚してもらう取組が求められますが、特に就学児がいる保護者に対し、家庭教育を見つめる機会の提供が大切であります。様々なテーマでの学習機会を設けて、子育て支援、教育支援をより一層進めてもらいたいと考えます。

子供の健やかな成長のためには、家庭教育に課題を抱えた保護者への様々な形での支援が必要と思われますが、啓発活動を通して具体的な支援事業の周知もしてほしいと思います。

基本方針6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

6－①

事業名	街頭指導活動
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	青少年による問題行動の未然防止、早期発見・指導を行うため、青少年相談員や社会教育指導員などが、公園や繁華街などを巡回しました。
24年度実績	実施回数 603回 従事者数 延べ1,389人 声かけ指導人数 1,308人
成果指標	街頭指導で1回当たり1人が声をかける人数 1.3人
成果実績	街頭指導で1回当たり1人が声をかける人数 0.9人
成果と課題・今後の取組等	社会教育指導員と夜間専門補導員の実施回数を増やし、声かけ指導の機会を増やしたことで、繰り返し指導される青少年との関係づくりがよくなされ、問題行動の早期発見だけでなく、未然防止につながっています。 新規の青少年相談員は、まだ声かけ指導の仕方が十分に身に付いていないので、今後の研修会や街頭指導の実践の中で、定着を図ります。

点検・評価委員からの意見	街頭指導活動は、関係諸機関の多くの方々のおかげで、青少年による問題行動の未然防止につながっていると思われますので、継続してほしいと思います。
--------------	---



6-②

事業名	非行防止・環境浄化活動
担当課等	青少年教育相談センター
事業概要	青少年健全育成のため、環境浄化活動としての「心と街のクリーン作戦」や、青少年相談員が青少年の薬物乱用防止を呼び掛ける「愛の一声みちびき運動」などを実施しました。
24年度実績	心と街のクリーン作戦 開催回数 1回、参加者数 261人 愛の一声みちびき運動 開催回数 15回、参加者数 74人
成果と課題・今後の取組等	心と街のクリーン作戦では、世代を越えた交流の中で有意義な活動を行うことができました。今後は新たに小学生も参加対象とし、規模を拡大する予定であることから、これまで以上に準備を円滑に進めます。 愛の一声みちびき運動では、各地区で啓発活動を展開し、地域の青少年の非行防止につなげました。啓発物品の予算がない中、チラシなどの配布に苦慮する地区がありましたが、工夫している地区の実践を情報交換するなどして改善を図ります。



【基本方針6に対する点検・評価委員からの総括的意見】

環境浄化活動や啓発活動、街頭指導活動、巡回等は地道な活動ですが、継続的な活動の積み重ねが、やがて目に見える大きな力になって働いてくると思われるので、更なる継続を望みます。

青少年健全育成のための巡回や声かけ指導等様々な活動により、駅周辺や各地域の公園が落ち着いた状況となり、地域社会の教育力も向上し成果が出ていると思います。

基本方針7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

7－①

事業名	市民スポーツ活動推進事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	多くの市民にスポーツにふれあう機会を提供するため、ニュースポーツを体験するスポーツなじみDAYなどを開催しました。
24年度実績	スポーツなじみDAY ロンドン五輪パブリックビューイング開催
成果指標	スポーツ行事の参加者数 15,500人（スポーツ推進事業を含む）
成果実績	スポーツ行事の参加者数 17,119人（スポーツ推進事業を含む）
成果と課題・今後の取組等	市民ニーズを的確に捉えた事業内容を検討しつつ、事業PRに様々な手段を講じ、市民に十分浸透する事業を展開します。

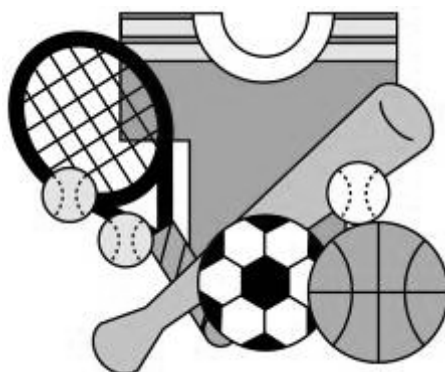
点検・評価委員からの意見	より多くの方に参加してもらうために、初めての方が参加しやすい環境づくりが大切であると思います。初心者限定の講座などを開催すると参加しやすくなると思われます。
--------------	--



7-②

事業名	スポーツ推進事業補助金
担当課等	スポーツ課
事業概要	本市のスポーツの普及・推進を図るため、少年ソフトボール大会などの各種スポーツ大会やサッカー教室などのスポーツ教室を開催する（公財）厚木市体育協会に対して、補助金を交付しました。
24年度実績	競技別市民選手権大会 6,912人 スポーツ大会 4,948人(8回) スポーツ教室等 2,259人 スポーツ人のつどい 512人 指導者養成支援等 1,124人 元気アップスポーツフェスティバル 313人
成果指標	スポーツ行事の参加者数 15,200人（市民スポーツ推進事業を含む）
成果実績	スポーツ行事の参加者数 17,119人（市民スポーツ推進事業を含む）
成果と課題・今後の取組等	今後も、（公財）厚木市体育協会に対して交付金を交付し、本市のスポーツの推進のための事業について指導を図ります。

点検・評価委員からの意見	厚木市体育協会が開催している各種スポーツ大会には、毎年多くの子供たちが参加してスポーツを楽しみ、技術の向上に励んでいます。大会によっては参加費が高かったり、大会運営に関わる指導者層が長く固定しているということもあるようです。交付される補助金額の検討、新しい指導理念の普及推進を図ってほしいと思います。
--------------	--



7-③

事業名	スポーツ振興基金積立金
担当課等	スポーツ課
事業概要	スポーツの振興に役立てるため、皆様からの寄附金などを積み立てました。
24年度実績	寄付金などの積み立て実施
成果と課題・ 今後の取組等	広く一般からの寄付金の受入れができるような体制の整備が必要です。また、寄付者については市ホームページなどにおいて公開し、市民に広く周知します。



7-④

事業名	スポーツ推進委員養成事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・推進のため、地域のリーダーとしてふさわしいスポーツ推進委員の養成のための研修会などを行いました。
24年度実績	スポーツ推進委員会開催 14回 研究会・研修会 6回 市等主催事業協力 6事業
成果指標	行事等参加推進委員数 800人
成果実績	行事等参加推進委員数 993人
成果と課題・今後の取組等	市民が気軽に親しむことのできるニュースポーツを中心に、各種目の専門的知識を養うための研修会などを実施します。 また、スポーツを通して地域のネットワークやコミュニケーションの中心として活動をしていく必要があるため、スポーツという枠を超え、必要に応じて講義・講習を進めます。

点検・評価委員からの意見	若手推進委員の養成と幅広い知識を習得することにより、老若男女問わず多くの方が、スポーツを気軽に安全に楽しんでもらえるように期待します。
--------------	---



7-⑤

事業名	競技団体選手強化事業交付金
担当課等	スポーツ課
事業概要	競技力向上を図るため、競技団体が全国大会や県大会などに選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会などの事業に対し、交付金を交付しました。
24年度実績	交付団体数 3団体（県大会3団体）
成果と課題・今後の取組等	各競技協会において、選手強化がより効果的に行えるような事業内容及び交付額について検討します。

点検・評価委員からの意見	競技団体にとって、このような奨励金は必要だと思われますので、公民館だよりなど活用して制度の周知を図っていただきたいと思います。
--------------	---



7-⑥

事業名	全国大会等出場奨励事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	競技力向上を図るため、国際大会、全国大会に出場する市民の方々に 対し、奨励金を交付しました。
24年度実績	国際大会出場奨励金 2件（2人） 全国大会出場奨励金 134件（447人）
成果指標	全国大会出場者数 350人
成果実績	全国大会出場者数 449人
成果と課題・今後の取組等	全国大会等出場奨励事業については、情報収集の能力を上げるとともに、この制度の周知を十分行います。

点検・評価委員からの意見	スポーツをしている市民の方にとって、このような奨励金は必要だと思われますので、公民館だよりなど活用して制度の周知を図っていただきたいと思います。
--------------	--

7-⑦

事業名	体育施設整備事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	身近な所でスポーツ活動ができるよう、河川敷内の中三田スポーツ広場の衛生設備など附帯施設の整備を行いました。
24年度実績	中三田スポーツ広場の水道新設 吾妻町青少年広場の水道新設
成果と課題・今後の取組等	平成25年度は、南毛利スポーツセンターテニスコートフェンスを修繕します。

点検・評価委員からの意見	市民の方が、安心・安全にスポーツを楽しんでもらえるように、順次整備を進めていただきたいと思います。
--------------	---



7-⑧

事業名	(仮称)飯山グラウンド整備事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、(仮称)飯山グラウンド用地をスポーツ施設として整備しました。
24年度実績	(仮称)飯山グラウンド実施設計委託を行い、テニスコート部分の基礎調査を実施しました。
成果と課題・今後の取組等	スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、今後は、グラウンド部分の設計など、整備方針を検討します。

7-⑨

事業名	青少年広場拡張事業
担当課等	スポーツ課
事業概要	身近な所でスポーツ活動ができるよう、上依知青少年広場及びその周辺を整備しました。
24年度実績	上依知青少年広場及びその周辺における拡張整備のための基礎調査を行いました。
成果と課題・今後の取組等	関係機関との協議、調整及び地元自治会などとの協議を行い、整備方針を検討します。



事業名	市史編さん事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	本市の歴史的変遷を後世に継承するため、「厚木市史」の発刊を目指し、歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行いました。
24年度実績	平成25年度刊行予定の厚木市史民俗編(1)民俗記録集の編さんに向け、資料収集、選定、解説、清書などを実施しました。 厚木市史たより 6～8号発行 市史歴史講演会「都市と農村の食文化-江戸時代を中心に-」を開催 参加者 80人
成果と課題・今後の取組等	これまでに『厚木市史』の本編11巻、『厚木市史資料叢書』1～11、『厚木市史たより』1～8号等を発刊することができました。今後は、市史編集委員会委員等執筆体制の充実を図り、着実に発刊を進めます。 また、多くの方に事業を知っていただくため、歴史講演会の開催や『厚木市史たより』の発行を継続して実施します。



7-⑪

事業名	郷土芸能公開活用事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	郷土芸能を広く市民に伝承するため、相模人形芝居やささら踊りなどについて、児童・生徒、市民の方々が数多く鑑賞できる機会を設けました。
24年度実績	郷土芸能公演 郷土芸能まつり 鑑賞者数 620人 郷土芸能普及公演 鑑賞者数 3,545人 郷土芸能出前体験教室 体験者数 684人 郷土芸能学校 体験者数 177人 郷土芸能イベント等 鑑賞者数 4,268人
成果指標	公演鑑賞者数 8,300人
成果実績	公演鑑賞者数 9,294人
成果と課題・今後の取組等	平成24年度は、公演内容を工夫し、各種報道機関に取り上げられた成果が表れ、目標を大幅に超える9,294人の方々に郷土芸能を鑑賞していただきました。厚木市が誇る伝統芸能を市内外へ広く周知できました。 平成25年度も今まで以上に鑑賞の機会を提供するため、小・中学校のほか公民館への協力を依頼し郷土芸能の保存・普及に努めます。併せて義太夫三味線、伊勢十二座太神楽獅子舞の郷土芸能学校を継続し、後継者の育成に力を注ぎます。

点検・評価委員からの意見	公演内容の工夫と広報活動の成果により、多くの市民が郷土芸能を鑑賞することができたと思います。今後も、高齢者が孫と一緒に、身近な公民館などで気軽に鑑賞することができるような企画も検討してほしいと思います。
--------------	--



事業名	郷土芸能後継者育成事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	郷土芸能後継者育成のため、児童・生徒を始め多くの市民の方々が参加できる体験講座として、郷土芸能学校を開設しました。
24年度実績	郷土芸能学校 開催回数 40回 ・厚木太神楽 開催回数 20回 ・義太夫三味線 開催回数 20回 郷土芸能出前体験教室 開催回数 22回 後継者育成講座 開催回数 11回 ワークショップ 開催回数 11回
成果指標	体験講座実施回数 75回
成果実績	体験講座実施回数 84回
成果と課題・今後の取組等	郷土芸能学校で実施していた「義太夫」「相模人形芝居」については、既に事業が終了しておりますが、当時の受講者が現在も後継者として舞台などで活躍しています。 「太神楽」「義太夫三味線」については、新たな受講生も加わり、より充実した講座となるよう一層の工夫をします。 また、市内各施設での後継者育成講座を積極的に行い、更なる後継者育成に努めます。

点検・評価委員からの意見	郷土の芸術文化の展開について、地区公民館などと連携することで、より市民の関心が高まると思います。
--------------	--



事業名	(仮称) 収蔵資料館建設事業
担当課等	文化財保護課
事業概要	郷土の歴史や自然を語る貴重な資料を展示公開、保存するとともに、調査・研究・普及活動などを通して地域文化の発展と賑わいを創出する(仮称) 収蔵資料館を整備しました。
24年度実績	(仮称) 収蔵資料館の基本構想策定へ向け、庁内検討会を開催、跡地研究会へ博物館施設見学会などを行いました。
成果と課題・今後の取組等	今後は、庁内検討会による検討などを更に進め、パブリックコメントを実施することにより、市民の意見を取り入れながら、(仮称) 収蔵資料館の基本構想を策定します。



【基本方針7に対する点検・評価委員からの総括的意見】

市民がスポーツを気軽に安全に楽しむためには、施設面の整備やスポーツ推進委員の養成は、必要不可欠な面があり継続を希望します。また、子供から高齢者まで誰もが気軽に楽しく取り組める面を持った活動が多いので、生涯学習の推進という観点からも様々な年齢層を対象にした事業の展開が、それぞれの団体等で一層図られるよう更なる支援を期待します。

文化活動等に係る事業は、保護者を始め地域の方々が、児童・生徒と一緒に鑑賞や体験をすることを通して、啓発や理解を進め深めていくということが効果的であると思われるので、学校への積極的な働きかけがあっても良いと思います。

基本方針 8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

8－①

事業名	人権教育・啓発推進事業
担当課等	社会教育課
事業概要	市民の方々に、人権に対する意識をより高めていただくため、人権講座「ヒューマンカレッジ」などを開催するとともに、人権について積極的に啓発しました。
24年度実績	人権講座「ヒューマンカレッジ」 開催回数 全3回、参加者数 200人
成果指標	人権講座「ヒューマンカレッジ」参加者数 120人
成果実績	人権講座「ヒューマンカレッジ」参加者数 200人
成果と課題・今後の取組等	第3回目をヒューマンライツフェスタと同時開催で実施し、中学生人権作文の優秀作品朗読や受賞者を交えたディスカッションなど、様々な身近な人権に対する理解を深めることができました。 今後も、よりニーズに合い、現状に即した人権問題について、参加しやすいテーマ設定を心がけた講座を実施します。

点検・評価委員からの意見	人権については、全ての部署が取り組まなければならないものだと考えます。また、学校、家庭、地域、行政が連携して人権に対する意識を高めていただきたいと思います。
--------------	--



【基本方針8に対する点検・評価委員からの総括的意見】

人権教育については、全ての組織や部局を超えて取り組まなければならないと思われます。関連する事業を始め、各講座等や研修等の調整を図り、地域・家庭・学校・行政等が横断的・縦断的に連携をとることができるように工夫を進める中で、より効果的・効率的な展開を期待します。

いじめや自殺が社会問題となっており、依然として悲惨な事件が後を絶ちません。こうした状況を少しでも改善していくためには、児童・生徒を始め、保護者や教育関係者、市民がいじめは犯罪であるという意識を、しっかり持つための啓発活動を重ねていくことが必要であります。いじめをテーマにした人権教育を設定していくべきと考えます。

人権尊重の意識をより高め、人権教育の充実を図るためには、人権講座の開催だけでなく、社会的な課題を把握し、市民のニーズにあった啓発事業を積極的に推進してほしいと思います。また、講座のテーマを分かりやすい日本語にして、多くの市民が興味・関心を抱くように、広報内容を工夫してほしいと思います。

【点検・評価委員会からの総括的意見】

私たちは、平成25年度の点検・評価に当たって、基本方針ごとに主要事業の内容と成果を点検・評価する形をとりましたが、厚木市教育充実プランの諸事業は、児童・生徒一人一人に適したきめ細かい施策が展開されており、安心・安全で快適な教育環境の中で学習に取り組むことができる環境づくりを進める上で、有効に機能していると思われます。

事業の成果指標について、一部分かりづらいものもありましたが、教育は成果指標を一概に数字で、しかも短期に評価することは難しいと思います。数値だけで評価できないこともありますので、教育現場である小・中学校の声を聞いて各事業に即した成果指標として設定することも必要であると思います。

また、携帯電話の普及などによるいじめやトラブルが問題視されています。いじめから自殺に追い込まれることもあります。これらの問題の未然防止・早期発見のためには、学校だけでなく、地域・家庭などが一体となって取り組まなければならないと思います。そのため、教育委員会は学校・地域・家庭と連携した事業展開をしてほしいと考えます。

今後も、未来を担う人づくりを進めるため、各事業について計画的・継続的に実施してほしいと思います。

【基本方針事業に関する教育委員会の評価】

基本方針1

【「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。】

評 価

確かな学力を身に付ける教育を推進するための各事業については、児童・生徒の学習状況に応じたきめ細かな支援・指導を行うことにより、学習意欲の向上、学習習慣の確立及び基礎的・基本的な知識や技能の習得を図ることができました。

今後は、より一層児童・生徒一人一人に行き届いた学習活動の支援・指導に向けた施策を進めるため、児童・生徒の学力状況を継続的に把握し、各学校における指導や教育委員会の施策の改善を進めることにより、特色ある事業展開を着実に進めます。

成果実績が高い事業

- ・ 小学校「放課後あつぎ元気塾」実施事業（1－⑧）26ページ
- ・ 元気アップスクール推進事業交付金（1－⑩⑪）28ページ
- ・ 小学校少人数学級実施事業（1－⑭）30ページ

点検・評価委員から工夫を求められた事業

- ・ 厚木市学力学習状況調査実施事業（1－⑦）25ページ

基本方針2

【豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。】

評 価

単独調理場の完成や地場産農産物を給食に使用することにより、食を通して農業・歴史・文化・風習を学習する教育的効果が図られました。今後も、定着に向けて働きかけていくことにより、食育を推進します。また、給食費の公会計化により、教職員の負担軽減を図り、児童・生徒と向き合う時間を増やし、豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

児童・生徒を始めとした相談内容については、年々深刻・複雑化することから、研修を積極的に実施することで、今まで以上に対応能力の向上を図るとともに、地域と連携して小・中学校や保護者に対して、理解を深めていくことにより、不登校の早期発見・未然防止を目指します。

成果実績の高い主な事業

- ・郷土資料館活動推進事業（2－③）41ページ
- ・適応指導教室運営事業（2－⑨）47ページ

点検・評価委員から工夫を求められた事業

- ・青少年教育相談事業（2－⑦）45ページ

基本方針3

【教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。】

評 価

教職員の指導力向上を支援するための各種研修・講座・発表会・講演会を開催することにより、教職員の意欲を高め、指導力向上を図ることができました。

今後も、教職員が参加しやすい研修等を開催し、内容についても今日的教育課題について十分研究を積み重ねて実施することにより、児童・生徒・保護者の多様なニーズに日々対応するため、教職員の意欲と素質の向上を高めます。

成果実績の高い主な事業

・教育調査研究部会運営事業（3－①）49ページ

基本方針4

【課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。】

評価

経済的な理由により就学困難な児童・生徒の保護者や、特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者、また、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、教育機会均等を進める上で、個々の状況やニーズに応じて、適切な指導を受けられる環境整備をすることにより、適切な支援をすることができました。

日本語の理解が十分でない外国籍の児童・生徒に対しては、増加する現状を踏まえ、事業を積極的に推進します。

児童・生徒の健康を配慮した快適な学習環境を確保するために、学校における施設整備を進めることにより、安全で快適な教育環境の中で学習に取り組むことができる環境づくりを計画的に進めます。

成果実績の高い主な事業

- ・特別支援教育推進事業（４－⑬）６４ページ
- ・学校支援プロジェクトチーム事業（４－⑮）６６ページ

点検・評価委員から工夫を求められた事業

- ・外国籍児童・生徒等支援事業（４－⑭）６５ページ

基本方針5

【教育の原点である家庭教育を支援します。】

評 価

教育の原点である家庭教育を支援する各事業については、社会教育の拠点である公民館などを活用して、家庭教育の必要性や重要性を理解していただくため、ニーズにあった講演内容を実施することができました。

今後も、学校・関係団体と連携しながら、地域のニーズを的確に捉え、要望の高いテーマや重点的に取り組む課題を扱った講座などを積極的に開催していくことにより、多くの方が参加していただけるように努め、更なる家庭教育の充実を図ります。

成長期にある子供の健やかな成長のために、積極的なPRを推進します。

成果実績の高い主な事業

- ・家庭教育情報提供事業（５－②） 70ページ

点検・評価委員から工夫を求められた事業

- ・「早寝早起き朝ごはん」啓発推進事業（５－③） 71ページ

基本方針6

【地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。】

評価

青少年相談員や社会教育指導員などによる巡回の増加や積極的な声掛けにより、青少年による問題行動の未然防止や早期発見につながっています。

今後も、継続的に声掛けを実施するとともに、相談員などの資質の向上に努め、地域社会の教育力の向上に努めます。

成果指標が分かりづらいとされた事業については、分かりやすいものとなるよう努めます。

点検・評価委員から工夫を求められた事業

・街頭指導活動（6－①）73ページ

基本方針7

【スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。】

評価

多くの市民の方に、スポーツに親しんでいただき、スポーツ大会・教室などに参加されたことから、本市のスポーツの普及・推進が図られました。

文化芸能活動についても、公演内容を工夫し、各種報道機関に取り上げられたことにより、大勢の方々に郷土芸能を鑑賞していただくことで、本市が誇る伝統芸能を市内外へ広く周知することができました。

今後は、より多くの方がスポーツに親しむことができるように、市民ニーズを的確に捉えてPRに様々な手段を講じて事業を実施するとともに、安心・安全で気軽にスポーツを楽しむことができるように、施設整備の充実を図ります。

また、文化芸能活動については、地域と協力して、郷土芸能の保存・普及に努め、更なる後継者育成に力を注ぎます。

成果実績の高い主な事業

- ・スポーツ推進事業補助金（7－②）78ページ
- ・郷土芸能公開活用事業（7－⑪）85ページ

点検・評価委員から工夫を求められた事業

- ・市民スポーツ活動推進事業（7－①）77ページ

基本方針8

【人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。】

評 価

人権に対する意識をより高めていただくように、ニーズに合い、現状に即した、参加しやすいテーマを設定した人権講座を開催するとともに、中学生人権作文の優秀作品朗読、受賞者を交えたディスカッションを実施することにより、身近な人権に対する理解を深めることができました。

今後も、ニーズに合い、現状に即した講座を積極的に実施することにより、人権に対する意識をより高めていきます。

成果実績の高い主な事業

- ・人権教育・啓発推進事業（8－①）89ページ

平成25年度
厚木市教育委員会点検・評価報告書
(平成24年度事業対象)

発 行 厚木市教育委員会
編 集 厚木市教育委員会教育総務部教育総務課

